

グランドフォークスだより

第 321 号

2021 年 3 月 17 日（水）～3 月 27 日（土） By 鈴木

皆様、グランドフォークスだよりをお送りします。

東海の訓練再開の準備ということでグランドフォークスを訪れ、自主隔離期間も含めて 10 日ほど滞在しました。

渡米前、氷点下 10 度以下で時々雪という 2 週間予報を見て、いろいろ防寒対策も持参しました。しかし、予報はかなり外れて好天で温かい日が多く、川はまだ凍りついているものの、雪はかき集められた黒い小さな塊だけです。

空港を視察した日は飛行訓練日和で、たくさんの訓練機が飛んでいました。これまでの最多レベルで訓練が行われていることです。



下記の URL をクリックするとグランドフォークスの天気を確認できます。

<http://www.weather.gov/fgf/>

★UND スタッフが献身的で準備万端

東海生が入居の Campus Place のアパートがどうなっているかを見に行った時、ちょうどデビーさんが若いスタッフと協力して新しいベッドカバーやカーテン、ゴミ箱などを運び入れているところでした。

荷物部屋に集められていた各部屋の荷物を詰めた箱は、既に元の部屋に戻されていました。一旦解約して貸し出されていた部屋はクリーニング済できれいになっています。一時帰国時のままの部屋はもちろんそのままの状態ですが、定期的に水を流したり換気したりと手を掛けてくれていたようです。

日常生活状態の雑多なものを箱詰めして荷物部屋に運び、頻繁に手を掛け、再び元の部屋に運ぶ。献身的な対応に感謝するばかりです。

新しい学部長にもお会いしました。空軍のご出身で、日本を何度も訪れていた方です。UND スタッフは東海の復帰を心待ちにしています。何人ものスタッフが再び東海生を迎えることを“Exciting”と言ってくれます。

★ほとんどみんながマスクをしている

空港では言うまでもなく、街中でもほとんどすべての人がマスクをしています。至る所に手指消毒用の消毒液が設置されていて、いったい何度手を消毒したことでしょう。

キャンパスに車で来て駐車場から大学の建物に入る所でマスクをする学生を頻繁に見かけました。あの広大なキャンパスののどかな散策路でジョギングする学生までマスクをしています(全員ではない)。

TV ニュースでみるアメリカとはずいぶん違います。しっかりコロナ対策をしているグランドフォークスを実感しました。

渡米後数日でまず PCR 検査を受け、更に数日で大学の建物に入れるようになりますが、訓練生は UND のスタンダードに合わせて、その後も週に 1 回 PCR 検査を受けることとなります。検査は無料で簡単であつという間に終わります。20 分もすれば結果がメールで送られてきます。検査に加えて、空港に入るには毎日健康状態等を申告する必要があります。

★ダウンタウンのレストランには活気がある

ランチタイムもディナータイムもダウンタウンのレストランには活気があり、賑やかな会食の光景はコロナなどないかのようです。ウォルマートなどスーパーでは消毒液が配置されレジで間隔を空けるなどそれなりに対策を実感できましたが、レストランでは申し訳程度のアクリル板などは見られますが、日本で推奨されているような食事の仕方とは程遠いようです。やはりしばらくの間、訓練生の外食は難しいと言えます。

★感染者数は再び増えている

11 月から 12 月にかけて大きな感染の波を経験したノースダコタ州、4 人に 1 人が陽性経験者で、身近な UND スタッフからも感染経験を聞きました。幸いほとんど症状はなかったそうです。

1 月以降、感染者数は減少し、落ち着いた状況のノースダコタ州でしたが、しかし、日本同様にリバウンドが懸念されます。日本にいても感染状況の情報を確認できるのでご存知の方も多いでしょう。最も状況の良かった 3 月上旬に比べると、ノースダコタ州の感染者数は倍増しています。UND 学生/スタッフの感染者数も 3 月下旬に急増しています。

決して油断せず、可能な限りの感染対策を継続しなければなりません。

★いよいよ東海の訓練再開

4 月 5 日を皮切りに 80 余名がぞくぞくとグランドフォークスにやってきます。大変な 1 年の空白を経ての訓練再開です。自主隔離もあり、まずは生活の立ち上げに時間を要するでしょうが、5 月には充実した訓練生活が始められるでしょう。

安全で充実した UND 留学・訓練の再開を期待します。

以上です。